

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和6年12月4日同時配布



令和6年12月4日
国土技術政策総合研究所

流域治水デジタルテストベッドの整備状況を報告します

～「webセミナー開催」と「G空間 EXP02025 出展」のお知らせ～

国総研では、官民連携によるイノベーションを通じて、流域全体の防災能力の飛躍的な向上を図るため、仮想空間に流域を再現した実験場「流域治水デジタルテストベッド」を整備中です。民間企業等の意見を整備に反映するため、「webセミナー」を開催するとともに、「G空間 EXP02025」への出展を行います。

1. 背景：

近年の気候変動による水災害の激甚化・頻発化に伴い、多様な関係者が協働し流域全体で水災害を軽減させる「流域治水」が進められています。広大な流域で多様な関係者が合意形成を図りながら流域治水を進めるための、対策効果の見える化や民間企業等の持つ最新の防災技術を早期に実証・実装できるための仕組みとして、仮想空間に流域を再現した実験場（デジタルテストベッド）を整備中です。

2. 目的：

民間企業等を対象に web セミナー開催やイベント展示を実施し、意見交換を通して本施策の参加意識の醸成や課題共有を図り、施策推進につなげます。

3. 実施内容

1) 流域治水デジタルテストベッド共創 web セミナー：

(日 時) 2024 (令和6) 年 12 月 19 日 (木) 16:00-17:00 (開場 15:30)

(開催形式) オンライン形式

2) 「G空間 EXP02025」への出展：

(会 期) 2025 (令和7) 年 1 月 29 日 (水) ～1 月 31 日 (金)

(開 場) 東京ビッグサイト 南ホール

※「webセミナー」及び「G空間 EXP02025」の出展概要は別紙1をご確認ください。

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 河川研究部 水循環研究室

室長 竹下 哲也、主任研究官 諸岡 良優

TEL : 029-864-2325 E-mail : takeshita-t2hp@mlit.go.jp

開催概要

1) 流域治水デジタルテストベッド共創 web セミナー

web セミナーは、流域治水デジタルテストベッド（以下、「テストベッド」と記載）について、民間企業等との意見交換を通して本施策の参加意識の醸成や課題共有を図り、施策推進につなげることを目的に令和 4 年度から開催。今回で 5 回目となります。

（第 1～4 回の内容は右 web サイト参照：<https://www.nilim.go.jp/lab/feg/dtb/seminar/seminar.htm>）

（日 時）令和 6 年 12 月 19 日（木）16:00-17:00 （開場 15:30）

（プログラム） 16:00-16:25 説明（テストベッドの整備状況等）

[国総研 水循環研究室長 竹下 哲也]

16:25-17:00 意見交換

（対象者）民間企業、大学等研究機関、国・地方公共団体等

（参加費）無 料

（定 員）500 名（申込者が定員に達し次第、受付締切）

（申込先）web セミナー特設ページ（下記 URL）内の申込フォーム

URL：<https://www.nilim.go.jp/lab/feg/dtb/hottopic1.htm>



↑フォームはこちら

（その他）本 web セミナーは土木学会継続教育（CPD）制度のプログラムに認定されています。詳しくは上記特設ページをご確認下さい。

2) G 空間 EXPO2025

「G 空間 EXPO」は、地理空間情報活用推進基本法に基づく地理空間情報活用推進基本計画（令和 4 年 3 月閣議決定）に位置づけられているイベントであり、地理空間情報高度活用社会（G 空間社会）の実現へ向けて、産学官が連携し、地理空間情報と衛星測位の利活用を推進する場として開催されます。

国総研では、テストベッドに関して、対面で民間企業等との意見交換を行う観点から、本イベントにおいてブース展示やセミナー開催を行います。

デモ動画等を活用し、流域デジタルツインを体感できるような展示を予定しております。

（会 期）2025 年 1 月 29 日（水）～1 月 31 日（金）の 3 日間

（開 場）東京ビッグサイト 南ホール

（入場料）無 料（但し、入場登録必須）

（内 容）開催期間中はブース展示を実施します。

また、下記日時に特設ステージにて「参加者向けのセミナー」を開催します。

（2025 年 1 月 29 日（水）14:30-15:10（定員 100 名 聴講料無料））

（イベント詳細）<https://www.g-expo.jp/>

背景

「国土強靱化基本計画」（令和5年7月 閣議決定）【抜粋】

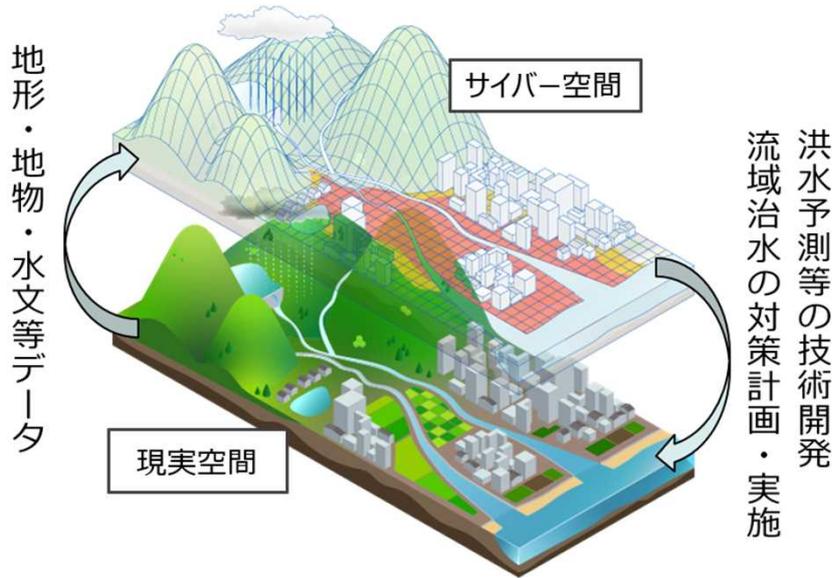
『オープンデータを含めた河川情報の提供やサイバー空間上のオープンな実証実験基盤（流域治水デジタルテストベッド）整備により、官民連携による避難行動を促すサービスや洪水予測技術の開発等を促進』

「水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会」提言（令和5年8月）【抜粋】

『流域治水の取り組みの効果を可視化するサイバー空間の構築や、位置情報の活用等、デジタル技術は非常に有効なツールとなる。それらを活用することによって、個人や民間と行政とが連携しやすくなるのみならず、各主体間でもその取り組みの状況を共有することができ、参画意欲や継続性を高める効果も期待できる。』

整備イメージ

オープンデータ等を活用し、仮想空間上に流域関連の各種データ（地形・地物、実績降雨、気候変動予測データ等）と演算・評価機能を組み合わせた流域デジタルツインの実験場（デジタルテストベッド）を整備。民間企業等にも開放し、洪水予測、流域治水立案技術を早期に開発・現場実装する実験場として活用。

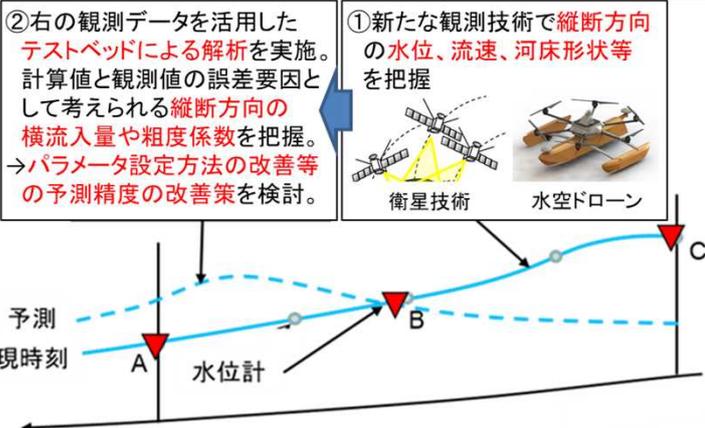


サイバー空間上に構築したデジタルテストベッドのイメージ図

テストベッドの活用イメージ

水害リスクラインの精度向上のための検討

新たな観測技術とテストベッドによる高負荷・高精度解析を融合させることで、水害リスクラインの予測精度の向上を図る



降雨データ・治水評価指標の可視化機能

実績降雨データや気候変動予測データや、水害のハザード・暴露、対策箇所等に関する評価指標を組み合わせて3次元地理空間上に可視化

